

主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館
後援：長岡京市 京都府地域力再生活動

第66回 環境教育ミーティング

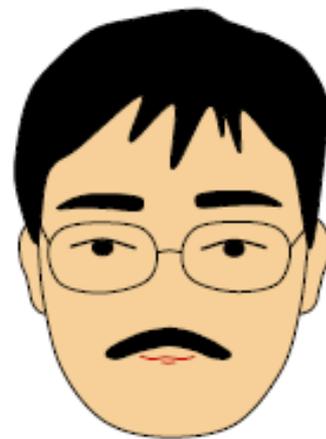
入場無料

(平成24年度のテーマ：環境と災害)

被災地から考える 乙訓から考える

日時：平成25年 3月21日(木)

会場：長岡京市立中央公民館 夜7~9時



2階・講座室

講師：柳沼宣裕さん

講師のプロフィール

営業職の後、国立マレーシア北大学人文・教育学部主任教師、国土交通省淀川河川事務所河川レンジャー、内閣府地域雇用創造事業「グラウンドワーク・インターンシップ」四国ブロック事務局担当・被災地支援業務現地責任者を経て、現在、大阪市西淀川区まちづくりセンター支部で地域まちづくり支援員。

地域活性化人財発掘、地域での雇用創出、防災普及業務・マンション住民の地域参加促進等を行っている。

「地域を元気にする仕事」は職業・業務としてまだまだ確立していない分野。そのため、なんとかさまざまな方に声をかけてもらって仕事についています。

また、水防団を応援する、「淀川スイポーズ」事務局長。川を核としたまちづくりの活動をしています。

お話の内容

2011年の夏、私は研修生を連れて第1次隊から5次隊まで、気仙沼市にある地域災害ボランティアセンターに入りました。そこで見たものは海岸部の被害のみならず、何キロも離れた場所まで流された車両・家屋、流された思い出の品々。そして塩水に浸かって使えなくなった田んぼとアスベスト。

災害の後には環境や生態系の課題も起こります。今回はそのようなことを小畑川とも組み合わせて考えてみたいと思っています。

追記

今回はまー難しいお題。でもね、かけ出しのころ色々面倒を見てもらった京都乙訓の人に声をかけられたら、そりゃ受けます！。そう、土地の記憶をまちづくりや防災に活かす、『まちごと防災探検隊』等々の活動は旧乙訓郡域の自治会、学校、水防団との協同事業でした。

感想をお寄せ下さい

プロジェクトリーダー：西村日出男
Fax：075-952-3718
sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp